

日本高血圧学会認定 高血圧専門医制度

高血圧専門医申請書類 (A)

| | |
|-----------------|---------|
| 専門医申請書…………… | P. 2 |
| 履歴書…………… | P. 3 |
| 認定施設研修終了証書…………… | P. 4-6 |
| 研修達成度評価表…………… | P. 7-12 |
| 指導医の推薦書…………… | P. 13 |

※稀に次ページの写真貼付枠がこちらのページに印刷されることがありますが、

その場合でも写真は、P.2の高血圧専門医申請書右上の本来の位置に貼付してください。

なお、写真は、本人確認にも用いますので画像データを普通紙に印刷されたものなどではなく、鮮明な写真を貼付してください。

※P.3の学歴、職歴欄には認定内科医取得日または内科専門医研修期間、取得日を必ずご記入ください。記載例は削除してください。

※P.2,3,4,13には忘れずにご押印ください。

高 血 圧 専 門 医 申 請 書

写真を貼って
下さい
(3cm×
3cm)

日本高血圧学会専門医制度委員会御中

日本高血圧学会認定 高血圧専門医制度規則および施行細則に規定する高血圧専門医の資格
を受けたく申請致します。

フリガナ

申請者氏名 (自署) _____ 印 19 年 月 日生

勤務先 _____

所属部科名 _____ 役職名 _____

勤務先住所 〒 _____

日本高血圧学会入会年月日 _____ 年 月 日

会員番号 _____

履 歴 書

氏 名 印

ローマ字表記

生年月日 19 年 月 日

医籍登録番号

医師免許取得日 年 月 日

学 位

連絡先

e-mail

携帯電話（試験当日連絡可能な番号）

自宅住所 〒

勤 務 先

役職名

勤務先住所 〒

電話

Fax

e-mail

学歴、職歴（研修・診療履歴も含む）

例：19XX年3月 XX大学医学科卒

19YY年3月 YY大学大学院博士課程修了

19ZZ年～20AA年 臨床研修 ZZ病院

20BB年9月 認定内科医取得 ※認定内科医取得者は必須

または

20CC年4月～20DD年3月 内科専門医研修 EE病院 ※内科専門医取得者は必須

20FF年4月 内科専門医取得 ※内科専門医取得者は必須

認定施設研修修了証明書

20 年 月 日

氏 名 _____

上記のものは下記研修施設において常勤医として高血圧に関する研修を行ったことを証明する。

(1) 期間： 年 月 日～ 年 月 日 (年 ヶ月)

研修施設名：

電 話：

施設長名：

印

(2) 期間： 年 月 日～ 年 月 日 (年 ヶ月)

研修施設名：

電 話：

施設長名：

印

(3) 期間： 年 月 日～ 年 月 日 (年 ヶ月)

研修施設名：

電 話：

施設長名：

印

.....
現在勤務する施設名：

所在地：

電 話：

施設長名：

印

期間： 年 月 日～現在

期間は認定内科医取得日以降または、内科専門医研修開始日以降の期間を西暦で記載してください。

印は施設印、または施設長名に記載した先生の認め印でも可。この用紙に研修施設独自の証明書を添付されても結構ですが、在籍年数は必須とします。

妊娠・出産・育児・傷病・介護などによる休職者は、研修期間中（3年間の研修につき）最大6か月（分割取得可）の休職期間を研修期間として許容します。

その場合は、上記研修期間の下に

内休職期間 年 月 日～ 年 月 日（ ヶ月）

と明示するとともに、上記理由を証明する書類を添付してください。

高血圧専門医研修カリキュラム達成評価について

高血圧専門医研修カリキュラムは、日本高血圧学会認定高血圧専門医になるための研修内容の一つであり、そのための到達目標である。

【到達目標レベル】

本カリキュラムでは、研修到達目標のレベルをアルファベットの記号で記している。その分類を以下に示す。

| | 知識・能力 | 診察 | 検査 | 治療 | 疾患 |
|---|-----------------|----------|-------------|-----------------|-----------------------|
| A | 十分な知識・能力がある | 一人で実施できる | 一人で実施、判定できる | 十分に経験し、一人で実施できる | 担当医として経験する |
| B | 指導医の下で実施する能力がある | | 一人で判定できる | 指導医の下で経験する | 指導医の下で経験する |
| C | | | 指導のもとで判定できる | 概略の知識を有する | 見学・研修・で経験する、概略の知識を有する |

具体的な目標達成の判定基準・経験すべき症例数は、研修カリキュラムの各項目を参照されたい。

高血圧専門医研修カリキュラムおよび以上に沿って、次ページからの研修達成度評価表の自己評価、指導医評価を括弧内に記入すること。

研修達成度評価表

| | 自己評価 | 指導医評価 |
|---------------------------|------|-------|
| I. 知識、能力 | | |
| 1. 医療倫理・医療安全 | () | () |
| 2. 医療法制度 | () | () |
| 3. 臨床研究・診療ガイドラインの適切な活用 | () | () |
| 4. 臨床研究を実施する能力 | | |
| (1) 臨床試験成績の解釈と批判的考察 | () | () |
| (2) 臨床研究および治験に関する法令・規制 | () | () |
| (3) 臨床研究の倫理 | () | () |
| (4) 臨床試験デザインの理解と試験計画の立案 | () | () |
| (5) 統計 | () | () |
| 5. 高血圧の疫学 | | |
| (1) 国民の血圧水準の推移 | () | () |
| (2) 高血圧による脳卒中と心疾患の発症 | () | () |
| (3) 日本人高血圧の特徴 | () | () |
| (4) 降圧治療に関わる医療経済の問題 | () | () |
| (5) 公衆衛生上の高血圧対策 | () | () |
| 6. 血圧調節機序 | | |
| (1) 遺伝要因 | () | () |
| (2) 環境要因 | () | () |
| (3) レニン・アンジオテンシン・アルドステロン系 | () | () |
| (4) 交感神経系 | () | () |
| (5) 腎臓と食塩 | () | () |
| (6) 血管機序 | () | () |
| (7) 心臓 | () | () |
| (8) その他の機序 | () | () |
| 7. 血圧測定 | | |
| (1) 診察室血圧 | () | () |
| (2) 家庭血圧 | () | () |
| (3) 24時間自由行動下血圧測定 (ABPM) | () | () |
| (4) 血圧計の精度管理 | () | () |
| 8. 臨床評価 | | |

- | | | |
|-----------------|-----|-----|
| (1) リスクファクターの評価 | () | () |
| (2) 高血圧性臓器障害の評価 | () | () |
| (3) 合併症の評価 | () | () |
| (4) リスクの層別化 | () | () |
| (5) 治療・管理計画の立案 | () | () |

II. 診察

- | | | |
|--------------------------|-----|-----|
| 1. 上肢血圧測定（聴診法・自動血圧計） | () | () |
| 2. 下肢血圧測定（触診法・聴診法・自動血圧計） | () | () |
| 3. 四肢末梢動脈の触診 | () | () |
| 4. 四肢末梢雑音の聴取 | () | () |
| 5. 胸腹部血管雑音の聴取 | () | () |
| 6. 頸部・眼部の血管雑音の聴取 | () | () |
| 7. 甲状腺の診察 | () | () |
| 8. 頸静脈の評価 | () | () |
| 9. 心音（I音、II音）の聴取と評価 | () | () |
| 10. 心音（III音、IV音）の聴取と評価 | () | () |
| 11. 心雑音の聴取 | () | () |
| 12. 呼吸音、副雑音の聴取と評価 | () | () |
| 13. 肝腫大の評価 | () | () |
| 14. 腹部腫瘤の評価 | () | () |
| 15. 身体所見より体液量の評価 | () | () |
| 16. 浮腫の評価 | () | () |
| 17. 脳血管障害のスクリーニング | () | () |

III. 検査

- | | | |
|-----------------------|-----|-----|
| 1. 一般（必須）検査 | | |
| (1) 尿・血球検査 | () | () |
| (2) 血液生化学検査 | () | () |
| (3) 動脈血ガス分析 | () | () |
| (4) 心電図 | () | () |
| (5) 胸部 X 線 | () | () |
| (6) 精密眼底検査または眼底写真 | () | () |
| 2. 臓器障害検査のための特殊（精密）検査 | | |

- (1) 頸部血管エコー検査 () ()
- (2) 心エコー検査 () ()
- (3) 腎エコー、腎血流エコー検査 () ()
- (4) 四肢動脈エコー検査 () ()
- (5) 腹部 CT・MRI 検査 () ()
- (6) 頭部 CT・MRI 検査 () ()
- (7) 尿中蛋白／微量アルブミン排泄量 () ()
- (8) PWV 検査・ABI・動脈脈波検査・AI 検査 () ()
- (9) 高感度 CRP () ()

3. 二次性高血圧のための検査

- (1) 腹部エコー検査（副腎・腎臓） () ()
- (2) 各種ホルモン検査 () ()
- (3) 各種核医学検査 () ()
- (4) 副腎静脈サンプリング検査 () ()
- (5) 腎動脈造影・分腎静脈サンプリング検査 () ()
- (6) 腎生検・腎病理検査 () ()
- (7) 携帯型パルスオキシメトリー、睡眠ポリグラフィー () ()

IV. 治療

1. 生活習慣の修正

- (1) 食事療法（減塩、DASH 食、アルコール制限） () ()
- (2) 体重のコントロール () ()
- (3) 運動療法 () ()
- (4) 禁煙指導 () ()
- (5) 特定保健用食品に関する指導 () ()

2. 降圧治療

- (1) 個々の患者に適した降圧薬の選択 () ()
- (2) 個々の患者に適した降圧目標レベルの決定 () ()
- (3) 降圧薬の服薬指導 () ()
- (4) 降圧薬の特徴と主な副作用 () ()
- (5) 降圧薬の副作用の発現時の適切な対応 () ()
- (6) 降圧薬の増量と併用 () ()
- (7) 降圧薬の持続時間の評価と対応 () ()
- (8) 降圧薬の減量と中止 () ()

(9) 早朝高血圧のコントロール () ()

V. 疾患と病態

1. 高血圧性臓器障害および臓器障害を合併する高血圧症

(1) 脳血管障害

- ① 脳卒中急性期 () ()
- ② 脳卒中慢性期 () ()
- ③ 無症候性脳血管障害 () ()
- ④ 頸動脈狭窄・頭蓋内主幹動脈狭窄 () ()

(2) 心疾患

- ① 急性左心不全および肺水腫 () ()
- ② 心肥大 () ()
- ③ 狭心症 () ()
- ④ 急性冠症候群（急性心筋梗塞・不安定狭心症） () ()
- ⑤ 陳旧性心筋梗塞 () ()
- ⑥ 慢性心不全 () ()
- ⑦ 大動脈弁疾患 () ()
- ⑧ 心房細動 () ()
- ⑨ 心室性期外収縮 () ()

(3) 腎疾患

- ① 慢性腎不全（慢性腎臓病を含む） () ()
- ② 急性腎不全 () ()
- ③ 糖尿病性腎症 () ()
- ④ 慢性糸球体腎炎 () ()

(4) 血管疾患

- ① 胸部／腹部大動脈瘤 () ()
- ② 大動脈解離 () ()
- ③ 大動脈炎症候群 () ()
- ④ 大動脈縮窄症 () ()
- ⑤ 動脈硬化性末梢性動脈閉塞症 () ()

(5) 他の条件・他疾患を合併

- ① 後期高齢者高血圧 () ()
- ② 糖尿病 () ()
- ③ 脂質異常症 () ()

- ④ メタボリックシンドローム () ()
- ⑤ 睡眠時無呼吸症候群 () ()
- ⑥ 気管支喘息および慢性閉塞性肺疾患 () ()
- ⑦ 痛風・高尿酸血症 () ()
- ⑧ 肝疾患 () ()
- ⑨ 認知症 () ()
- ⑩ うつ病または気分障害 () ()

2. 特殊条件下の高血圧

- (1) 加速型－悪性高血圧 () ()
- (2) 高血圧緊急症（切迫症） () ()
- (3) 外科手術前後の血圧コントロール () ()
- (4) 妊娠高血圧症候群と高血圧合併妊娠 () ()
- (5) 小児高血圧 () ()
- (6) 高血圧緊急症以外の一過性血圧上昇 () ()

3. 二次性高血圧

- (1) 腎実質性高血圧 () ()
- (2) 腎血管性高血圧 () ()
- (3) 原発性アルドステロン症 () ()
- (4) クッシング症候群（副腎性サブクリニカルクッシング症候群・クッシング病含む）
()

()

- (5) 褐色細胞腫 () ()
- (6) 甲状腺機能亢進症 () ()
- (7) 甲状腺機能低下症 () ()
- (8) 副甲状腺機能亢進症 () ()
- (9) 先端巨大症 () ()
- (10) 血管性高血圧（大動脈炎症候群など） () ()
- (11) 脳・中枢神経疾患による高血圧 () ()
- (12) 薬剤誘発性高血圧、健康食品による高血圧 () ()

4. 他の血圧調節異常

- (1) 低血圧または起立性調節障害（高血圧合併を含む） () ()

5. コントロール不良および治療抵抗性高血圧

- (1) 白衣高血圧の評価と対応 () ()
- (2) 仮面高血圧の評価と対応 () ()

(3) 治療抵抗性の要因検索・対策実施 () ()

VI. 患者・市民・チーム医療メンバーの教育

1. 高血圧・循環器疾患予防に関する患者集団教育 () ()
2. 高血圧・循環器疾患予防に関する市民啓発活動 () ()
3. チーム医療メンバー（メディカルスタッフ）への教育 () ()

高血圧指導医の推薦書

日本高血圧学会専門医制度委員会御中

申請者氏名 _____

上記のものは日本高血圧学会認定 高血圧専門医制度規則および施行細則に規定する高血圧専門医の資格を申請するに足る研修を修了したことを認め、ここに高血圧専門医候補者として推薦いたします。

_____ 年 月 日

推薦者（自署） _____ 印

勤務先 _____

所属部署 _____

役職名 _____